

主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善について（小・中社会） ～令和元年度鹿児島学習定着度調査の結果から～

義務教育課

小学校

令和2年1月に実施した鹿児島学習定着度調査では、小5社会科の平均通過率は72.2%でした。このうち「基礎・基本」の問題については、73.6%、「思考・表現」の問題については69.0%という結果であり、概ね定着が図られています。

内容・領域別でみると、運輸・貿易に関する問題が、また、観点別でみると、資料活用の技能に関する問題の平均通過率が他の観点と比べて低く、特に自動車の生産と人々の工夫など問題の平均通過率が低くなっています。

今後、運輸・貿易に関して学習する際、その職業に従事する人々の努力や工夫について、自分の考えを表現できるよう、文章で書いたり、発表したりする活動を取り入れましょう。

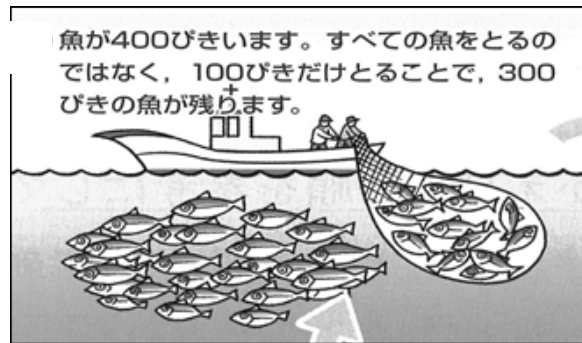
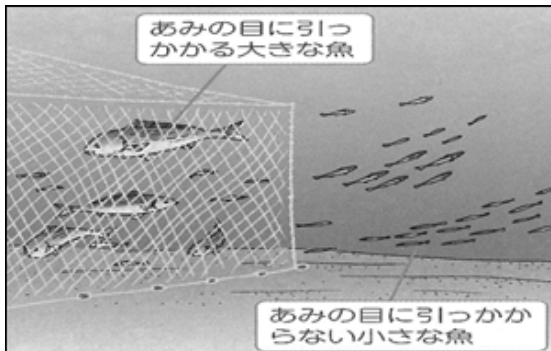
また、資料やグラフ等から分かることを説明したり、複数の資料の共通する部分や相違点等をまとめたりする活動を重視するとともに、自分の考えを発表したり、ペア・グループで意見を交流したりする活動に取り組んでいく必要があります。

特徴ある問題から

【出題の意図】我が国の水産業が抱える問題を解決する取組について資料から読み取ったことをもとに考え、表現することができているか。

4(4) 資料3と資料4は、これからの水産業を考えた魚のとり方です。このような魚のとり方をしているのはなぜでしょうか。下の□の中に理由を説明しましょう。

(資料3) これからの水産業を考えた魚のとり方① (資料4) これからの水産業を考えた魚のとり方②



解答例

海の魚が減るのを防ぎ、将来にわたって安定した漁ができるようにするため。

平均通過率…75.5%
無解答率…3.5%

こんな取組もいかがですか？ （「時代区分について」）

…主体的・対話的な授業づくりのために基本を押さえる。

- 1 旧石器 縄文 弥生 古墳
- 2 (古墳は)大和であと 飛鳥
- 3 奈良 平安 鎌倉と(南北朝↑)
- 4 室町 戦国と続きます
- 5 安土・桃山 江戸 明治
- 6 大正 昭和で「はい」平成
- 7 そして令和



歴史の授業においては、時代区分を理解しておくことが大前提です。そうすることで、今、学習しているところがどこなのかを、子供たちは把握しながら進めることができます。そこで、思い切って時代区分を重点的に扱ってみるのもよいかもしれません。長い目で見ると、効果があり、中学校への橋渡しにもなり、歴史好きの子供を育てることもつながります。授業の始めに取り組みせたり、小テストを実施したり…工夫してみましょう。

- ※ 1～7でそれぞれ息継ぎ
- ※ 南北朝は声を1オクターブ上げる
- ※ 「はい」は手拍子

中学校

令和2年1月に実施した鹿児島学習定着度調査では、中1社会科の平均通過率は64.9%でした。このうち「基礎・基本」の問題は67.2%、「思考・表現」の問題は60.1%でした。中2社会科では平均通過率61.2%で、「基礎・基本」の問題は59.7%、「思考・表現」の問題は64.6%でした。

内容・領域別に見ると、中1では世界の諸地域に関する問題、中2では歴史的分野の近世の日本に関する問題の平均通過率が低くなっています。

また、観点別に見ると、中1では社会的な思考・判断・表現に関する問題、中2では中世、近世における社会的事象の知識・理解に関する問題の平均通過率が低くなっています。

今後、選択・判断した根拠や理由を明確にし、考えをまとめる活動や、定期考査等でかごしま学力向上支援Webシステムに掲載している単元別評価問題等を活用するなどの取組を充実させるとともに、複数の資料（写真、グラフ、表等）を活用して、社会的事象を多角的・多面的に捉えられるよう、比較・関連付けを意識した授業改善に取り組んでいきましょう。

特徴ある問題から

【出題の意図】 雨温図の特徴を読み取り、熱帯地方の生活の様子を説明することができているか。

中1 ②(3) (世界各地の人々の生活と環境)

平均通過率：80.1%

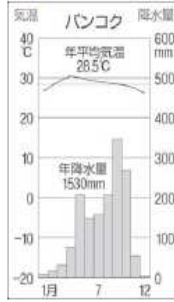
※ 中学校第1学年2学期重点課題とほぼ同一問題
(重点課題平均正答率：57.6%)

(3) 資料1は地図中のバンコクと同じ気候の地域で見られる伝統的高床の住居である。この地域で高床の建物を住居としている理由を、資料2の雨温図や気候帯の特色にふれて説明せよ。

(資料1)



(資料2)



(改善が図られた学校の取組例)

- ・ 2学期の重点課題を実施した際、定着が図られていない生徒に対して、繰り返し個別指導を行った。
- ・ 例年、課題がある内容・領域等については、定期テストや単元末テスト等で繰り返し出題した。何回も取り組んだことで、生徒たちは気候の特色に関する理解が深まった。

◎ 教師がやることは繰り返しやらせること。

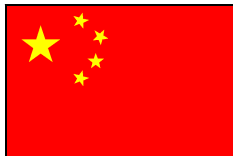
Webシステムに掲載している単元別評価問題等を活用することです。

こんな取組もいかがですか？

(「中国の王朝名について」)

…主体的・対話的な授業づくりのために基本を押さえる。

- 1 殷 周 秦 漢 三国 晋
- 2 南北 隋 唐 五代 宋
- 3 元 明 清
- 4 中華民国
- 5 中華人民共和国



歴史の授業においては、時代区分を理解しておくことが大前提です。そうすることで、今、学習しているところがどこなのかを、子供たちは把握しながら進めることができます。そこで、思い切って時代区分を重点的に扱ってみるのもよいかもしれません。長い目で見ると、効果があり、歴史好きの子供を育てることにもつながります。授業の始めに取り組んだり、小テストを実施したり…工夫してみましょう。

→ 小学校編を参照

★ 日本の時代区分と中国の王朝名が関係付けられるといいですね。

※ 1～5でそれぞれ息継ぎ

※ 「しん」は秦 晋 清 …注意!

※ 遣隋使、遣唐使、元寇などを扱うときに王朝名を復唱する。お経のように…